



第八次秋田県高等学校総合整備計画（素案）について

7月18日発行の学校だよりNo.71でお知らせしましたが、秋田県教育委員会では「第八次秋田県高等学校総合整備計画」（令和8年度～令和17年度）の素案を作成し、公表しました。その説明会が8月29日（木）午後6時から太田文化プラザで行われました。秋田県教育委員会からは高校教育課長をはじめ、高校教育課高校改革推進チームの職員が来てくださり、丁寧に説明してくださいました。

高等学校に関する計画ということもあり、まだまだ先のこと…と思うかもしれませんが、実はこの計画は今の小学生が高等学校に入学する際に直接関わる計画です。小学生にはまだ関心がなくても、保護者の皆様には、素案ではありますが、ぜひこの計画の内容についてお知りおきください。説明会の主な内容は、次のとおりです。

- ・ 令和7年3月に秋田県内の中学校卒業生数は7,011人（大曲仙北は861人）で、今の小学1年生が中学校卒業する令和15年3月は5,296人（大曲仙北は688人）と予測され、大幅に生徒数が減少する見込みである。豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる人材を育てる教育活動を推進するためにも、時代の変化に対応した特色ある学校づくりを推進していく必要がある。
- ・ 将来の子どもたちのために、教育環境を整える必要がある。学びたいことが学べる環境、好きなスポーツや文化活動ができる環境を整える必要がある。教育効果を最大限高める観点から、1学年4～7学級を適正規模と考え、活力ある学校を維持していきたい。そのためにも、学校の統合等再編整備を実施する必要がある。
- ・ 大仙市の令和6年3月の中学校卒業生数は561人であり、そのうち467人が大仙市内の高等学校に進学している。大仙市では、令和20年3月の中学校卒業生数は345人と予測されており、1学級40人とすると8学級あればいいということになる。
- ・ 大仙市内にある3校（大曲農業高校、大曲高校、大曲工業高校）は、令和8～12年度に地域と協議し、令和13～17年度中に2校にする案を示す。
- ・ 西仙北高校は、〇〇高校西仙北校（1学年1学級）の地域校とし、地域との連携や本校との交流を進める高校にする。いつから地域校化するかは未定である。
- ・ 大曲農業高校太田分校は、平成27年度から入学者数の減少が続いており、令和2年度には太田分校の将来を考える会を設置し、協議を進めてきた。太田中学校からの入学者数も令和2～6年度は毎年1～4名になっており、令和6年度は大曲地区に25名、角館地区に11名という進学状況である。通学手段の変化等により、太田分校を設置した目的は十分に果たされたのではないかと考える。そのため、募集停止とするが、いつから募集停止とするかは未定である。

説明会で配付された資料もお届けします。不明な点などございましたら、校長まで連絡ください。よろしくお願いいたします。